

第2回新潟大学・地域共創支援活動 オンラインセミナー・シーズ発表会

<ご案内>

11/25 (木)・Zoom ウェビナー開催 (主催：新潟大学地域創生推進機構)

- 厳しい経済社会環境において持続的な地域経済の発展や雇用の場の創出を図るには、地域内の多様なステークホルダーが連携し、それぞれの強みを活かしながら共に新たな価値を創造する地域共創活動が求められています。
- 新潟大学地域創生推進機構は、本学の社会貢献の理念・目標に沿って地域連携活動及び産学連携活動を一貫して推進し、地域課題の解決及び産業の発展に寄与することを目的に取り組んでいますが、こうした取組の充実強化を図るため、地域共創活動の中核となる事業者等に対して総合大学として抱える多岐にわたる分野・領域の研究者を紹介するとともに、学術指導や調査・分析等の受託、共同研究、受託研究など一連の支援活動を通じ、地域共創活動が円滑・効果的に展開されるよう努めてまいりたいと考えております。
- つきましては、今後の共創活動の参考としていただくためセミナー（ミニ講義）と併せ、シーズ発表会を「別紙」のとおり開催いたしますので、多くの皆様からご参加くださるようお願いいたします。

新潟大学・地域共創支援活動の概要



(別紙)

第2回新潟大学・地域共創支援活動オンラインセミナー・シーズ発表会 (Zoom ウェビナー開催)

1 日 時	令和3年11月25日(木) 13:30~15:00 (13:15 から受付開始)
2 方 法	「Zoom ウェビナー」を使用したオンライン開催
3 主 催	新潟大学地域創生推進機構
4 対象者	県内の企業、自治体、金融機関、経済団体、大学等の関係者(定員 500 人)
5 内 容	

(1) 開 会

(2) セミナー(25分) *ミニ講義 20分+質疑 5分

○テーマ 「[シビックテックを通じた地域課題の解決と行政と社会のデジタル化\(DX\)](#)」

<要 旨>

市民自らがデータを活用し新たなサービスを作る“シビックテック”が、今世界中で注目されています。行政だけではできないスピードで、市民目線の使いやすいデザインや、外国人向けサイトなどきめ細かな情報発信が可能となり、新型コロナから私たちの暮らしを守るためのサイトなどで注目を集めました。本講演では、行政のデジタル化(DX)の推進にも欠かせないシビックテックの行政のデジタル化 DX と改革に果たす機能と役割について紹介していきます。

○講 師 新潟大学人文社会科学系(工学部協創経営プログラム) 准教授 白川 展之

(3) シーズ発表(60分) *1人20分×3人

① 新潟大学自然科学系(農学部) 准教授 元永 佳孝

テーマ:「[画像処理・光センシング技術による食品・農産物の品質評価・管理](#)」

② 新潟大学研究推進機構超域学術院 助教 筒浦 さとみ

テーマ:「[食中毒を起こさない安全な加工食品を提供するための調理・加工に関する研究](#)」

③ 新潟大学自然科学系(農学部) 教授 北岡 本光

テーマ:「[ビフィズス菌のヒトミルクオリゴ糖代謝経路に迫る ～ 母乳とビフィズス菌の関係 ～](#)」

(4) 閉 会

6 お申し込み方法

○ お申し込みサイト <https://forms.gle/SzBSU5ZkwEBsofQaA> または右記の QR コード
からお申し込みください。(ご応募の際の個人情報は、当事業のみに使用いたします。)



○ お申し込みいただいた方に、メールにて参加 URL 及び関係資料を 11 月 22 日(月)までにお送りします。

○ お申し込み期限は、**11 月 21 日(日)**です。ご不明な点等ありましたら、下記までお問い合わせください。

<本件についてのお問い合わせ先>
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地
国立大学法人新潟大学地域創生推進機構
特命教授(社会連携部門長) 戸松 裕
E-mail:tomatsu@ccr.niigata-u.ac.jp
電話:025-262-5323 FAX:025-262-7513